

指揮

# 澤村杏太朗

第3回市川市文化振興財団  
芸術文化奨励賞受賞記念演奏会

第434回「交響楽の午後」

市川市芸術祭

2024  
7/21 日

管弦楽：市川交響楽団

お問い合わせ：main@ichikyo.org 市響ホームページ：<http://ichikyo.org/>

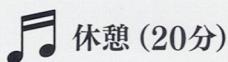
主催：市川交響楽団協会 共催：市川市 共催：公益財団法人市川市文化振興財団 協力：山崎製パン株式会社 株式会社全日警 株式会社伊藤楽器 後援：千葉交響楽団協会

# 本日のプログラム

モーツアルト (1756-1791) / 歌劇「フィガロの結婚」序曲

ロッシーニ (1792-1868) / 歌劇「セビリアの理髪師」序曲

ヴェルディ (1813-1901) / 歌劇「運命の力」序曲



レスピーギ (1879-1936) / 交響詩「ローマの祭」

I チルチェンセス II 五十年祭 III 十月祭 IV 主顯祭

15:45 終演予定

## プロフィール



### 指揮／澤村杏太朗 (さわむら・きょうたろう)

千葉県出身。東京藝術大学指揮科を卒業後、イタリア・ミラノ音楽院 "ジュゼッペ・ヴェルディ" で指揮を学び、2022年に最高点+の成績で卒業。三河正典、高闘 健、山下一史、ヴィットーリオ・パリージらに師事したほか、沼尻竜典、ダニエレ・ガッティ、ファビオ・ルイージらのマスタークラスで研鑽を積む。

2019年、新国立劇場にて副指揮者として複数公演に参加。2021年、第9回 ルイージ・マンチネッリ国際オペラ指揮者コンクール第一位。副賞としてテアトロ・コッチャ(ノヴァーラ)にて新作オペラ公演を指揮。2023年、東京・春・音楽祭にて、世界中から参加希望者が集まるオーディションを突破し、リッカルド・ムーティの講習会を受講。これまで、新日本フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団等と共に演じ、交響曲とオペラ、両方の分野に広いレパートリーを持ち、豊かな歌心を軸にした音楽づくりが、共演者や聴衆から高い評価を得ている。

### 市川交響楽団協会 (いちかわこうきょうがくだん協会)

市川交響楽団協会は昭和 26 年(1951)7 月に発足し、千葉県内に健全な純音楽の普及と啓蒙をはかり、クラシック音楽の愛好者層を増し、平和な潤いのある生活がみちあふれる事を願う文化団体です。しかも音楽の中で最も強力に共鳴感を起させるシンフォニックな楽団の育成と、その演奏活動の実践を容易ならしめるための社会教育団体でありまして、利益を得る団体でも、ただ自分中心の趣味だけを満足させる同好会でもありません。

自分達のクラシック音楽を表現する喜びを少しでも多くの人に分け与えようとする奉仕団体として、地元市川市を本拠地に演奏活動を行っております。当協会は、市川交響楽団、市川混声合唱団、市川交響吹奏楽団、市響ジュニアオーケストラ、行徳混声合唱団の演奏 5 団体および市響ジュニア育成会によって組織されております。

平成 21 年(2009)2 月にはこれまでの 60 年近くにわたる演奏活動と、今後の永続的な展開を期待され、市民の推薦による市川市民芸術文化奨励賞を受賞しました。

「市川交響楽団協会」は平成 30 年(2018)11 月に商標登録を行いました。(登録第 6103031 号)

市川交響楽団幹事長時田雄は兼務する千葉交響楽団協会理事長として令和 4 年度千葉県教育功労賞(文化芸術の部)を受賞しました。千葉県内のアマオケ活動の展開のなかで地域音楽文化振興の活動についての評価をいただいたものと理解しています。

オペラの序曲には、劇中のメロディを繋げたものと、そうでないものとありますが、初めの2曲は後者、ヴェルディは前者の構成になります。

#### モーツアルト / 歌劇「フィガロの結婚」序曲

初めの2曲はボーマルシェ作の戯曲フィガロ三部作を原作に作られたオペラの序曲です。

フィガロ三部作の第2部。従者フィガロの協力でロッジーナを妻にした伯爵が次に狙ったのは、ことあろうかフィガロの婚約者スザンヌです。それを知った伯爵夫人とスザンナは、小姓ケルビーノを使ったり、夫人とスザンナが入れ替わったりで伯爵を懲らしめる計画を立てます。フィガロには内緒です。途中バレそうになり、ケルビーノは兵隊として戦地に送られる罰を受けますが、計画は成功し、伯爵は膝をついて許しを乞います。従者の助けを乞う伯爵夫妻の情けなさや、君主制に対する抗議のメッセージが明確で、モーツアルトの勇気を感じます。

曲の出だしをぜひ集中してお聞きください。弱音で弦楽器とファゴットが奏でる序奏は私たちをこのオペラの世界に引き込んでいきます。

#### ロッシーニ / 歌劇「セビリアの理髪師」序曲

フィガロ三部作はここから始まります。身寄りのないロッジーナに一目惚れした伯爵は理髪師フィガロの力を借りて、彼女の財産を狙う医師バルトロと音楽教師バジリオから救い、結婚します。当時身分の高い人が使用人の協力を得ることは、恥ずべきことでした。

序曲は他のオペラから流用されたものです。1つのフレーズが繰り返され小さな音から徐々に大きくなって盛り上がる「ロッシーニクレシェンド」をお楽しみください。

第3部の「罪ある母」は「フィガロの結婚」から20年後の話です。伯爵とフィガロの両夫婦はフランス革命の中のパリに移住します。伯爵夫妻には二男と養女がいますが、長男は死に、次男は伯爵夫人とすでに戦死している元小姓ケルビーノとの間に生まれた不義の子です。養女も伯爵が彼の友人の妻に生ませた密通の娘で、財産を残すために養女にしたのです。そしてことあろうかこの2人が恋愛関係になります。

#### ヴェルディ / 歌劇「運命の力」序曲

カラトラーバ侯爵の娘レオノーラは、インカ人の血を引くドン・アルバロに恋しますが、父から許されません。侯爵はアルバロの銃の暴発で死亡てしまいます。伯爵の2人の息子は復讐のためアルバロの命を狙いますが、共に返り討ちに遭い、その時レオノーラも命を落とします。アルバロはその運命を呪い崖から身を投げます。最後には主要登場人物が全員死んでしまうオペラです。

序曲はこの悲劇を暗示する3つの続く音を吹く金管楽器から始まります。オペラのメロディをもとにできており、悲しみ、祈り、葛藤、孤独、天上の至福、怒涛。このオペラの縮図が詰め込まれています。

#### レスピーギ / 交響詩「ローマの祭」

今回の選曲には耳による時間旅行を私は感じています。作曲者

それぞれの活躍した時代が時系列に並び、オーケストラ編成やサウンドの変化を味わうことができますし、最後の「ローマの祭り」はさらに古代、中世、近世、そして現代とローマで行われた祭りを描いたもので、途切れることなく演奏されます。

#### I チルチェンセス

古代ローマ、皇帝ネロは市民の政治への不満を逸らすために「パンと見世物」と呼ばれる食料や娯楽を提供する政策を行いました。チルチェンセスとは見世物のことです。映画「グラディエーター」をご覧になった方もいらっしゃると思いますが、ここにいるのは勇猛な戦士ではなく、腹を空かせた猛獣と皇帝崇拜を拒否したことで迫害されたキリスト教徒です。

キリスト教徒は、自ら死ぬことを望み殉教します。キリスト教に敵意を抱いている群衆の目の前で意図的に死ぬことを重視したからです。市民の喚声、ファンファーレ、猛獣たちの唸り声、キリスト教の聖歌。この残酷な祭りの一部始終を大管弦楽で描いています。

キリスト教は313年コンスタンティヌス帝のミラノ勅令によって公認され、ローマ帝国による迫害は終わります。392年にはテオドシウス帝によって国教化されます。

#### II 五十年祭

キリスト教にはある期間ローマを訪れ、決められた条件で祈る信徒たちに、教皇が「聖年の大赦」と呼ばれる特別免償を与える年があります。教皇ボニファティウス8世の命で1300年に行われ、この時100年ごとと決めましたが、14世紀の半ば教皇クレメンス6世によって、50年ごととされます。これが五十年祭です。巡礼者たちが疲れきった足取りでモンテ・マリオの丘を登り、ローマを讃え、讃歌を歌い、教会の鐘がなります。

聖年はのちに33年ごととなり、1470年教皇パウロ2世は25年と定めました。すべての世代が大きな免償を獲得できるようにとの配慮で、今日もなお実行されています。

#### III 十月祭

ローマ郊外、南東30kmに位置するなだらかな丘陵地帯カステッリ・ロマーニは、ローマ市民の身近な日帰りお出かけスポットです。10月は栗や葡萄の収穫期で、「十月祭」は秋の葡萄の収穫祭です。神聖ローマ帝国のカール5世が、この地でワイン造りを命じ、軽やかに爽やかに仕上げた赤ワインは「ローマ法皇にも愛された伝統の赤ワイン」と言われています。

城が葡萄で覆われ、鈴をつけて走る馬、狩りの合図、鐘の音、愛の歌、夕暮れ、セレナーデのマンドリンをお楽しみください。

#### IV 主題祭

クリスマスの後に東方の三賢人がキリストを訪ねてやってきたことを祝う日。カトリック信者にとってはクリスマス以上に楽しみな、朝から晩までどんちゃん騒ぎできるお祭りです。魔女ベファーナが暖炉に吊るしてある靴下に良い子にはキャンディやおもちゃを、悪い子には木炭を入れるという言い伝えがあります。

喧騒、田舎の音楽、舞曲、見せ物小屋、手回しオルガン、物売り、酔っ払いの歌声。耳は陽気なイタリア人になってお祭りに参加してください。

## 本日の出演者

【コンサートミストレス】	【ヴァイオラ】	【フルート】	【ホルン】	【打楽器】
立 田 祥 子	石 本 惠 理	秋 山 愛 美	井 村 公 子	大 澤 香 奈
内 田 綾 美	佐 藤 洋 行	嶋 村 恒 夫	小 川 敏 弘	小 川 敏 弘
【第1ヴァイオリン】	高 橋 陽 介	二 木 陽 子	武 井 綾 香	児 玉 和 人
石 崎 俊 信	谷 口 善 樹		林 田 朋 子	篠 崎 美奈子
大 橋 一 郎	奈 良 林 弘 子	【オーボエ】		鈴 木 充
大 橋 かおる	星 乘 昭	白 木 広 美	【トランペット】	田 中 康 信
皆 合 愛 子	本 郷 尚 子	二 村 直 子	大 川 富 雄	都 筑 裕
桑 原 啓 輔		本 間 広 樹	十 川 雅 彦	時 田 裕
佐 分 利 幸 江	【チェロ】		田 崎 真 二	山 崎 泰 知
萩 原 詩 織	泉 谷 良 枝	【イングリッシュホルン】	塚 崎 晴 弥	和 田 英 恵
秦 一 宜	岩 田 理 人	古 澤 恵 子	新 井 本 昌 宏	
細 貝 春	倉 澤 倫 子		松 戸 隆 司	【マンドリン】
山 本 芳 功	倉 澤 由 和	【クラリネット】	八 木 巧 次	山 室 繁 央
渡 辺 みどり	中 村 公 一	赤 井 美 奈		
	日 澤 優	秋 永 直 美	【トロンボーン】	【オルガン】
【第2ヴァイオリン】	福 原 耕 二	井 垣 貴 翳	石 黒 弘 道	木 村 理 佐
滝 澤 葉 子	八 重 横 妙 子	時 田 雄	藤 平 一 仁	
富 田 八 江 子		半 藤 翳 人	藪 崎 裕 至	【ピアノ】
中 島 雪 香	【コントラバス】	八 木 良 子		畠 野 葵
中 野 さゆり	入 村 尚 美		【チューバ】	新 海 未 穂
服 部 恵 子	上 村 啓 介	【ファゴット】	渡 邊 鐵 雅	
早 川 貴 子	神 代 順 子	遠 藤 由 紀 子		【ハープ】
牧 田 太 郎	上 山 優 子	尾 崎 和 行		小 橋 ちひろ
溝 田 範 子	番 場 仙 嘉	金 坂 哲		
武 藤 敦 子	古 里 良 美	山 内 静		
森 郁 子				
柳 澤 敦 子				

### 次回 演奏会のご案内



#### 市響第436回「合唱の集い」

「希望の歌・キズナの歌」より

旅立ちの日に、BELIEVE、上を向いて歩こう、少年時代、等

合唱：行徳混声合唱団 指揮：大津康平 ピアノ：渡辺研一郎

混声合唱組曲

「心の四季」

作詩：吉野弘 作曲：高田三郎

合唱：市川混声合唱団 指揮：大津康平 ピアノ：鈴木珠美

モーツアルト「レクイエム」(オシュトリーガ版)

合唱：市川混声合唱団・行徳混声合唱団

指揮：大津康平

ソリスト：S 中須美喜 A 富本泰成

T佐藤拓 B 松井永太郎

管弦楽：市川交響楽団 オルガン：木村理佐

2024.10.6(日) 午後2時開演 (1時30分開場)

市川市文化会館大ホール



#### 市響第437回「ファミリー交響楽」

ベルリオーズ／序曲「ローマの謝肉祭」

ファリア／「三角帽子」第2組曲

ベルリオーズ／幻想交響曲

指揮：大勝秀也

2024.12.8(日) 午後2時開演 (1時30分開場)

市川市文化会館大ホール

# 第434回市響「交響楽の午後」

♪～指揮者澤村杏太郎氏第3回市川市文化振興財団、芸術文化奨励賞受賞記念演奏会～♪

にお越しくださいまして誠に有難うございます。

令和6年7月21日(日)午後2時開演 市川市文化会館大ホール

主催：市川交響楽団協会、共催：市川市、共催：公益財団法人市川市文化振興財団  
協力：山崎製パン株式会社、株式会社全日警、株式会社伊藤楽器

## ＜維持会員加入のお願い＞

市川交響楽団協会“市響”は千葉県市川市の音楽教員であった故村上正治先生により昭和26年(1951)に創設されました。現在の加盟団体は市川混声合唱団(昭和24年)、市川交響楽団(昭和26年)、市川交響吹奏楽団(昭和35年)、市響ジュニアオーケストラ(昭和50年)、行徳混声合唱団(昭和54年)の5つの演奏団体に市響ジュニアオーケストラ育成会(昭和59年)を加えた6つの団体で構成されています。発足時は戦後の荒廃の失意の中で過ごす人々の心を癒す“クラシック音楽の普及”を目指して活動してまいりましたが、近年では“クラシック音楽の演奏を通じて地域文化の振興に貢献したい”との思いを基本方針に年間を通じて多彩な演奏活動を行っております。

これまで“市響”は主催する演奏会をすべて入場無料で行ってまいりました。この活動が今日まで続けられたのも御理解ある有志の皆様の大きなご援助があってこそ可能でした。本日を機会に是非とも維持会員にご加入下さることで、皆様の更なるご支援を賜りたくお願い申し上げます。

令和6年7月21日 市川交響楽団協会理事長 時田 雄

<会員>	(1) 賛助会員年度会費	20,000円
	(2) 維持会員年度会費	5,000円(1口)
<特典>	(1) “市響”が開催する演奏会の招待状をご送付致します。	
	(2) 定期演奏会時プログラムと一緒に会員名簿を配布致します。	

### <お申込み方法>

演奏会々場の『会員受付』でお申込み頂くか下記郵便口座にお振込みをお願い申し上げます。

お振込先～市川交響楽団協会 郵便口座番号：00270-5-130648

### <連絡先>

事務局 〒272-0804 市川市南大野2-26-7 篠田要衛 TEL&FAX 047-339-3554

## ＜市川交響楽団協会役員会＞

令和6年4月1日

会長	飯島 延浩	副会長	村上 信乃
理事長	時田 雄	副理事長	星 乗昭
理事	伊藤 賢二	田中 甲	片岡 直公
	立田 祥子	土橋 靖子	高橋 昭彦
	平田 史郎		担当理事
監事	大坂 正美		評議員
名譽指揮者	早川 正昭		飯島 茂彰
幹事長(代表)	篠田 要衛	時田 雄	常任指揮者
	渡邊 千絵		大津 康平
事務局長	篠田 要衛	金山 志穂	渡邊 匡
			石井 省二
			上原 韶
			半藤 嗣人

## ＜賛助会員＞ (敬称略)

アウェイク事務所	飯島 茂彰	飯島 延浩	飯島 康江	出光 昭介	伊藤 賢二	内田 一孝
片岡 直公	古賀 正一	古賀 加奈子	齊藤 紀子	嶋田 久仁夫	鈴木 良一	世川 勇
世川 岬子	泰道 三八	西垣 由子	西林 照子	能村 研三	早川 正昭	星 乗昭
丸山 佐紀子	三木 敏行	三木 晴雄	村上 信乃	村上 葉子	山田 不二雄	横尾 芳昭
横田 礼名						

＜維持会員＞（敬称略）

阿部 泰明	新井 宏光	新井 弥生	荒木 洋子	石渡 源治	市岡 誠	市川市洋舞踊協会
井手 正明	伊藤 慶久	伊藤 和子	伊藤楽器	岩田 三和子	浮ヶ谷 只仁	浮ヶ谷 純子
内田 綾美	江藤 功	大石 秀子	大坂 國彦	大竹 夕力子	大塚 修平	大矢 勝實
荻野 智美	沖本 正子	金定 雅子	禿 雅子	川又 京子	菊池 克彦	樹下 啓介
木下 洋子	木村 英樹	久家 光彦	久米 英廣	桑村 益夫	桑村 和子	小池 征男
國府濱 敦子	後藤 妙子	小日向 文男	小松崎 幸子	金野 マル子	斎藤 稔	坂詰 貴司
坂本 篤信	佐藤 龍雄	佐藤 万佐子	佐藤 俊夫	佐藤 憲昭	塙野 正春	篠田 要衛
柴田 静治	嶋田 健一	白取 博子	進藤 英雄	鈴木 敦子	鈴木 美知代	鈴木 珠美
鈴木 勇	園田 美智子	染野 直之	高木 克則	高階 公恵	高橋 由妃	武井 敏行
田代 美香絵	立田 光廣	谷口 四郎	辻本 富子	十枝 和宏	戸田 正昭	内藤 富士子
永田 孝	永野 貞子	中村 雄司	中山 秀雄	並木 美智子	南波 みさ子	西川 淳子
西嶋 順幸	西野 薫	野口 道子	箱田 篤	橋本 昌明	橋本 洋子	長谷川 壮司
長谷川 加代子	秦 光昭	服部 真知子	林 順子	春田 実章	平野 あおい	藤井 昭宏
藤本 幸温	二村 直子	古谷 ヤス子	堀江 桂爾	松延 弘子	松本 孝子	丸山 晃司
水野 博子	箕輪 良行	森下 欣宏	守屋 貴子	矢作 ミキ	藪崎 裕至	山内 正晴
山岡 和宏	山崎 悠子	山下 良久	山本 喜相	横塚 和幸	横塚 英子	横山 仁司
横山 真弓	吉岡 一郎	吉川 ひろみ	米村 さとみ	渡邊 澄恵		



「練習指揮者から見た市川交響楽団」

鎌木蓉馬

本日は市川交響楽団第434回「交響楽の午後」にご来場いただき、誠にありがとうございます。

私は本公演において練習指揮者として関わり、澤村マエストロが不在の練習日に代わりに指揮を務めさせていただきました。今年で市川交響楽団と関わるのは3年目となり、これまでにはステーンハンマルの「交響曲第2番」やマスカーニの歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」といった難曲の公演にも練習指揮者として携わってまいりました。

「ローマの祭り」を始めとする今回のプログラムも決して簡単なものではありません。楽器ごとの技術的な難易度やアンサンブルの複雑さは非常に高く、さらに各オペラの劇内容や表題となっている様々な時代のローマのお祭りを表現しなければなりません。

市川交響楽団の皆さんには、これらの難曲に果敢に挑戦し、難しいパッセージや複雑なリズムに直面しながらも、毎回の練習で確実に上達していく様子を目の当たりにしてきました。マエストロの要求に熱心に耳を傾け、その理想に少しでも近づけるよう試行錯誤を重ねてきました。この音楽に対する真摯な情熱こそが、市川交響楽団の魅力であると感じております。今日の演奏からも、その強い情熱が伝わることでしょう。この情熱的なオーケストラが今後ともこの地で末長く愛されるよう、私も陰ながら微力ながら携わつていけましたら幸いです。皆様におかれましても、市川交響楽団への変わらぬご愛顧のほど宜しくお願ひ申し上げます。

【鎌木蓉馬先生プロフィール】

国立音楽大学卒業。上野学園大学研究生「指揮専門」修了。紀尾井ホール室内管弦楽団の指揮研究員として研鑽を積む。現在、オペラの副指揮者やアマチュアオーケストラの指導者として首都圏を中心に活動をしている。アンサンブル・アサヒ常任指揮者、川崎フィルハーモニー管弦楽団指揮者。

## 澤村杏太郎先生、第3回市川市文化振興財団 芸術文化奨励賞受賞！



### ～澤村杏太郎先生にインタビューしました。～

Q: 第3回市川市文化振興財団芸術文化奨励賞の受賞おめでとうございます。  
ありがとうございます。コンクールが終わり、受賞に関するご連絡を市川市の方からいただいたのが、まだイタリアにいる頃でした。イタリアにいますと、何かしら日本との距離感を気持ちの中で葛藤する事がありました。「自分は今海外では活動しているけれども、日本ではまだ自分は何もできていない」と。日本で直接評価をしてもらっているわけでもありませんでしたから、海外の活動がきっかけとなり、市川市から文化奨励賞を受賞をいただき、還元できたのかなと、率直にとても嬉しかったです。  
人ととの出会いに本当に恵まれたと感謝しかありません。

Q: 新国立劇場の副指揮者をご経験されたと伺いました。

シーズン期間中にはいくつかの演目があり、公演毎の契約を結びました。2019年1月からの『タンホイザー』副指揮から同年5月まで『蝶々夫人』副指揮として仕事をさせて頂きました。指揮者として演奏者とのコミュニケーションが何よりも一番大切なんです。

Q: イタリアのジュゼッペ・ヴェルディ音楽院指揮科を卒業されたとお聞きしました。

イタリアにはいくつか音楽院がありますが、その中で一番レベルの高いところだと一般的に言われている音楽院です。毎年指揮科には1名か2名が合格する狭き門で、入学できる人数は少ないですね。

Q: オーケストラなど指揮をする魅力や一番楽しいところを教えてください。

リハーサル（練習）中には、指揮者である自分が言葉を発して、それに対してもちろん反応があって、というやり取りを何度もします。しかし、本番になると演奏していく中で、例えば目を使ってとか自分の動きなどで言葉を使わずに音楽を通して会話をていきます。

奏者の最大の魅力を引き出すことが私の仕事でもあります。まだまだ、迷ったり悩んだりすることもたくさんあると思います。

Q: 幼少の頃についてお聞かせください。どんな子供でしたか？

そうですね。小学生の頃は、本当にわんぱく！やんちゃ！な子供で、いつも外で遊んでいました。その後中学に入ってちょっと変わったと思います。ピアノと真剣に向かい合うようになって、少し自宅でピアノを弾いている時間が増えたという変化はあったのかなあと思います。

小学校にもブラスバンドはありましたが入部することなく、中学生になってピアノに時間を割いていました。吹奏楽部にも入部したい気持ちはもちろんありましたが、自分なりにピアノに費やすことを決めました。

### ～指揮者澤村杏太郎先生から投稿原稿をいただきました～

○ちょうど3年前の夏、私はオルヴィエートというイタリアの小さな街にいた。ローマから少し北に行つたあたり、壁に囲まれたかわいらしい街だ。

滞在の目的は指揮者コンクール。カヴァレリア・ルスティカーナまるまる一本が課題だ。一次、二次とラウンドをくぐり抜け、フィナーレは聴衆も入った演奏会の形式で行われる。そしてくじ引きで決めた私の演奏箇所の中にはトゥリッドウのアリアがあった。緊張しながらも夢中になって振り終えて袖に戻ると、どうやら様子がおかしい。

しかし泣いているのは彼だけではなかった。袖で待機していた歌手たちが皆泣いていた。困り顔の私に、そのうちのひとりが「Hai fatto troppo bene.」(とても良かった)といってささやくような声で語り始めた。テノールの彼が少し前に大好きだった故郷のお母さんをなくしたこと。あなたとオーケストラの演奏が素晴らしい、それまで落ち込んでいた彼の気持ちを奮い立たせたこと。お母さんに別れを告げるアリアの内容が彼の心情とリンクしてしまって、想いをこらえきれなかったこと。

言葉はいらない、音楽を通じて心を通わせることは確かにできるのだ、と私が初めて実感した小さな奇跡の瞬間であった。



< レスピーギ作曲交響詩 >  
[ローマの祭] 第1楽章で  
3人のトランペットの皆さん  
による [パンダ]

パンダとは、主となる本来の編成とは別に、多くは離れた場所で [別動隊] として演奏する小規模のアンサンブルのことを申します。

今回のスナップ写真は  
第2ヴァイオリンの皆さん  
です。  
市川市文化会館小ホールにて

## ♪ 市川交響楽団協会年間予定

### 2024年（令和6年）

- ・ 2/12(月・祝) 「天空の文化祭」 クラリネットアンサンブル出演 アイリンクタウン45階展望室
- ・ 2/17(土) 「天空の文化祭」 弦楽四重奏出演アイリンクタウン45階展望室
- ・ 2/25(日) #432 「市川交響吹奏楽団定期演奏会」 指揮：直井大輔 市川市文化会館大ホール
- ・ 3/9(土) 「第12回 LLC フレンドシップコンサート」
- ・ 3/31(日) 市川市洋舞踊協会合同公演出演
- ・ 5/5(祝)#433 「市響ジュニア第47回定期演奏会」 指揮：直井大輔 市川市文化会館大ホール
- ・ 7/21(日) #434 「交響楽の午後」 指揮：澤村杏太郎 市川市文化会館大ホール
- ・ 8/11(日) 市川市文化集会舞台公演出演；市川市文化会館大ホール
- ・ 9/15(日) #435 「市吹・秋のコンサート」 指揮：直井大輔 市川市文化会館大ホール
- ・ 9月「第13回 LLC フレンドシップコンサート」
- ・ 10/6(日) #436 「合唱の集い」 指揮：大津康平市川市文化会館大ホール
- ・ 12/8(日) #437 「ファミリー交響楽」 指揮：大勝秀也(予定) 市川市文化会館大ホール